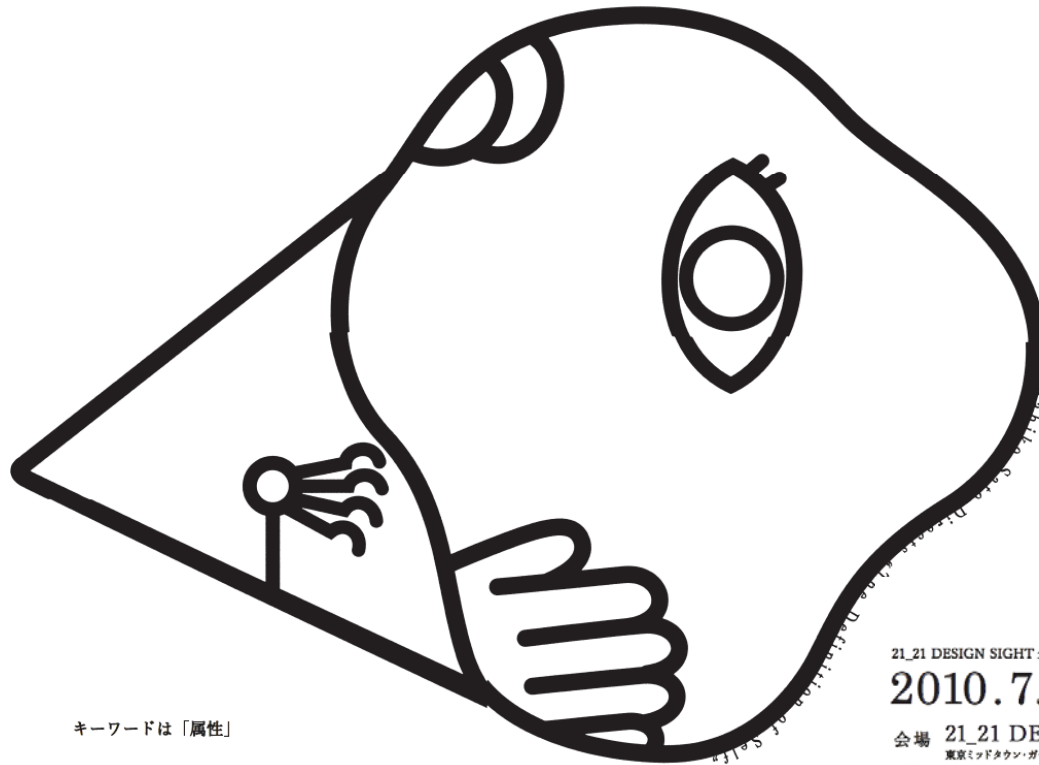


(注) このページは、21_21 DESIGN SIGHTウェブサイトからの転載です。

“これも
自分と
認めざるを
えない”展

佐藤 雅彦
ディレクション

株式会社セキュリティゲート・ジャパン
長瀬による紙上展示



キーワードは「属性」

Exhibition
“The
Definition
of
Self” } directed by Masahiko Sato

21_21 DESIGN SIGHT 企画展

2010.7.16 (金) ~ 11.3 (水)

会場 21_21 DESIGN SIGHT 開館時間 11:00~20:00 (入場は19:30まで) Entrance until 19:30
東京ミッドタウン・ガーデン内 Tokyo Midtown Garden 休館日 火曜日 (但し11月2日は開館) Closed on Tuesdays (Except Nov. 2nd)

参加作家 安藤英由樹、ユーフラテス、藤本直明、深谷崇史、譜久原尚樹、Antony Gormley、細谷宏昌、入来篤史、桐山孝司、内藤 礼、緒方壽人、大竹伸朗、岡田憲一、斉藤達也、佐藤雅彦、田村友一郎、Ari Veraluis and Ellie Uyttenbroek、渡邊淳司、Alexa Wright、米田知子

主催：21_21 DESIGN SIGHT、財団法人 三宅一生デザイン文化財団 後援：文化庁、経済産業省、東京都、港区
助成：財団法人 花王芸術・科学財団 特別協賛：三井不動産株式会社 協力：株式会社エーアイ、法科学鑑定研究所、株式会社アールアンテル、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、函館市教育委員会、IRIS ID Systems Inc.、KDDI株式会社、日本電気株式会社、日本電信電話株式会社、オムロン株式会社、独立行政法人 理化学研究所、日本サムスン株式会社、株式会社セキュリティゲート・ジャパン、Take Ninagawa、株式会社タニタ、東京藝術大学、東芝ソリューション株式会社

<http://www.2121designsight.jp>

21_21

21_21 DESIGN SIGHTディレクター：三宅一生、佐藤 卓、深澤直人 アソシエイトディレクター：川上真季子

展示会について

NHK番組「ピタゴラスイッチ」や、「だんご三兄弟」などで知られるメディアクリエイター、佐藤雅彦さん(現、東京藝術大学教授)が企画監修しました。

会場は、デザイナーの三宅一生さんの財団が所有し、東京六本木の東京ミッドタウン内ガーデンにある展示施設「21_21 Design Sight」です。

訪問者自身で体験する展示がほとんどですが、場所によっては1時間以上も待たなければならぬものもあります。7月16日の開館以来、凄い人気です。ネットでも沢山取り上げられています。

テーマは「属性」。人には、顔、耳、指紋、虹彩、静脈、筆跡などのほか、体重、身長、男女、年齢、勤める会社、役職、人種など様々な属性があります。

ロックシステムグループがビジネスの柱とする「ゲートセキュリティマネジメント」では、IDカード、虹彩認証などの人間属性の判定と、その結果として人を仕分けするセキュリティゲートなどをお客様に提供しています。

今回佐藤雅彦さんは、株式会社セキュリティゲート・ジャパンが扱う英国IDL社のセキュリティゲート「Fastlane」と、米国Iris ID社の虹彩認証「IrisAccess」に注目してくださいました。弊社がセキュリティゲートの知的美しさだけでなく、虹彩の精度の高さについてアピールする機会をいただいたのはとても名誉なことだと思います。

これを機会に、二つの商品の素晴らしさをお客様に知っていただきたいと期待しています。
株式会社セキュリティゲート・ジャパン 長瀬 泰郎

(注) このページは、21_21 DESIGN SIGHTウェブサイトからの転載です。

ディレクターより

属性に無頓着な自分、それに執着する社会。

展覧会ディレクター 佐藤雅彦

この展覧会のテーマは、「属性」という、日常ではあまり使われない言葉です。「属性」の意味を辞書に問えば、最初に、

【属性】ぞくせい

1. その本体が備えている固有の性質・特徴。

(『大辞林』より)

という簡明な説明が与えられます。例えば、あなたの身体的属性には、身長・体重・皮膚や髪の色・血液型・性別・年齢・体躯・顔つき・声など、限りない項目が挙げられるでしょう。また、社会的属性には、名前を始めとして国籍・住所・職業・所属・地位・人間関係などが挙げられます。その他、癖や持ち物なども、あなたの属性に含まれます。



あなたより、あなたのことを知っている社会

静脈認証や虹彩認証などの最新の生体認証技術は、従来、判別が不可能だった身体的属性をも正確に取得することを可能にしました。一方、人は相変わらず、普通の状態では、自分の姿や声さえも客観的に捉えることはできません。社会の方は、その取得環境と保存環境を日に日に整えつつあり、近い将来、場面によっては、社会の方があなたより、あなたの事を知っているという状況も生まれかねません。そう考えると、取得した属性データをうまく使えば、個人個人に細かく対応したサービスや堅固なセキュリティの確保という方向も見えてきますが、悪用すれば、過度な個人の監視や犯罪という方向も容易に想像できます。

この展覧会では、現在、あなたの属性が、あなたの知らないうちに、社会にどのように扱われているのか、さらには、あなたも意識していない、あなたのどんな属性がこれから社会に認識されていくのかを、作品を通じて知ることができます。そして、単なる技術展示にとどまらず、作品化することによって、属性の未来を可能性だけでなく危険性も含めて鑑賞してもらうことを目的のひとつとしています。

あなたの属性は、本当にあなたのものか。

さらに、辞書には「属性」の意味として、興味深い項目が次のように示されています。

【属性】ぞくせい

2. それを否定すれば事物の存在そのものも否定されてしまうような性質

(『大辞林』より)

例えば、自分の紹介に使う名刺も、その人にとっては名前や所属が載っている属性のひとつです。もし、自分の名刺を目の前で折られたり破られたりしたら、どんな気持ちになるでしょうか。まるで自分を否定されたかのように感じ、怒りさえ生まれてくるはずです。また、何かの間違いで、自分の籍や名前が無くなっていたとしたら、自分の存在が無いかのように社会は扱うはずですし、自分自身も自分の存在について希薄さを感じたり、逆にある種の自由さすら感じる事が予想されます。

この展覧会では、自分の属性である声・指紋・筆跡・鏡像・視線・記憶などをモチーフにした作品を展示しています。そこでは、この2番目の意味での属性が、私たちが今まで得ることができなかった感情を引き起こします。さらには、自分にとって、自分とはわざわざ気にするような重要な存在ではなかったという事柄や、自分をとりまく世界と自分との関係も分かってきます。

この展覧会のテーマである「属性」と作品群を通じて、人間と社会の未来がどうなるのか、人間と世界の在り方は本来どうであるのかを来場者ひとりひとりに感じ取ってもらい、そして多くの疑問を持ち帰ってもらい、その疑問をかざしつつ、これからの自分と社会を見つめていってほしいと、私は考えています。

以上が東京藝術大学の佐藤雅彦先生による解説です。

では、これから、今回セキュリティゲート・ジャパンが協力したセキュリティゲートと虹彩認証にポイントを絞って見学していきましょう。



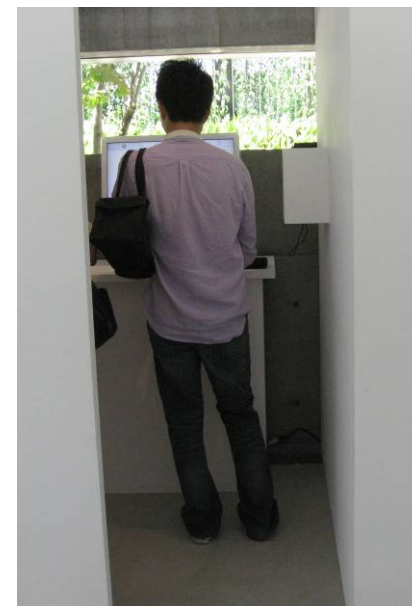
六本木駅近くの東京ミッドタウンの左奥に「ガーデン」があります。
この中に三宅一生財団の「21_21 DESIGN SIGHT」があります。



大きな垂れ幕の左側が展示場入口です。



館内に入り、受付を済ますと、自分の属性を登録するブースがあります。

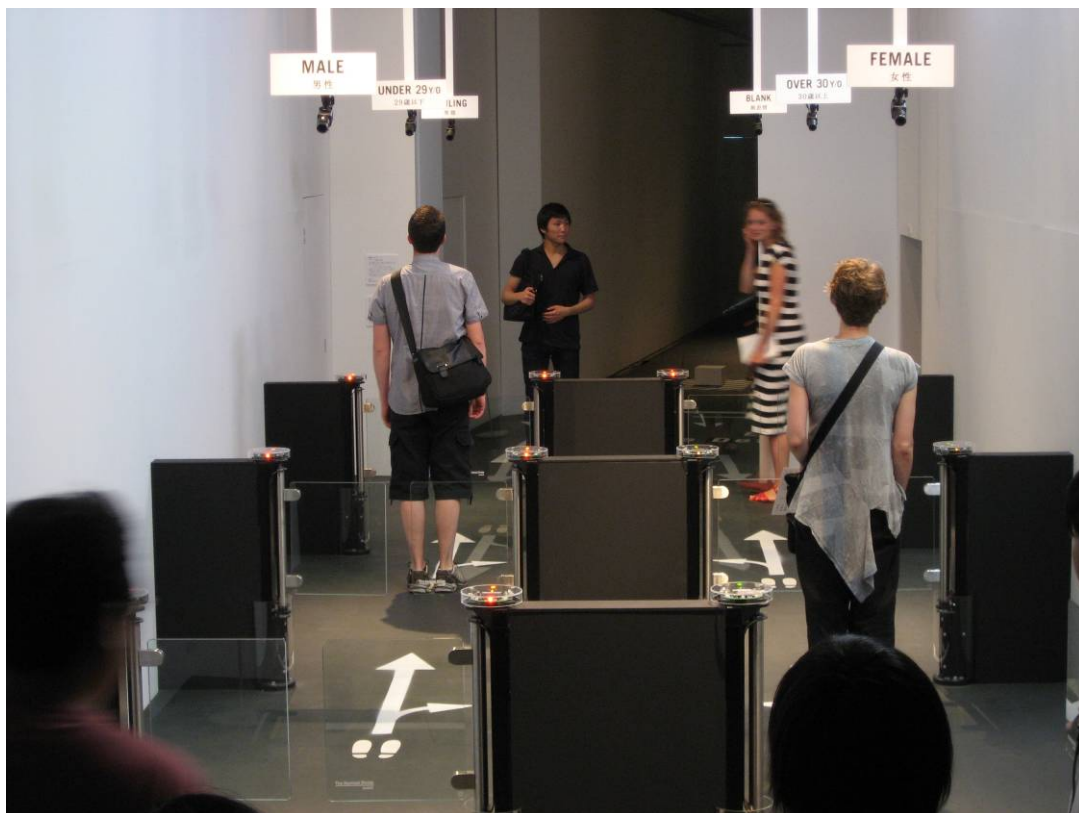


自分の身長や体重なども登録し、名前を入力して終わり。

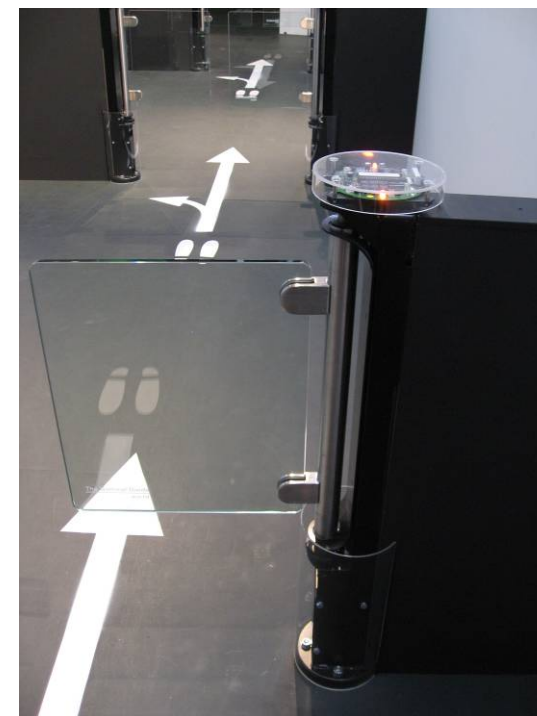
左側のブースに見える箱の中に虹彩の登録機が入っています。



←
左の4つの準備は、かならずしも本展覧会の鑑賞に必要ではありません。身長や体重を測らなくても大丈夫です。



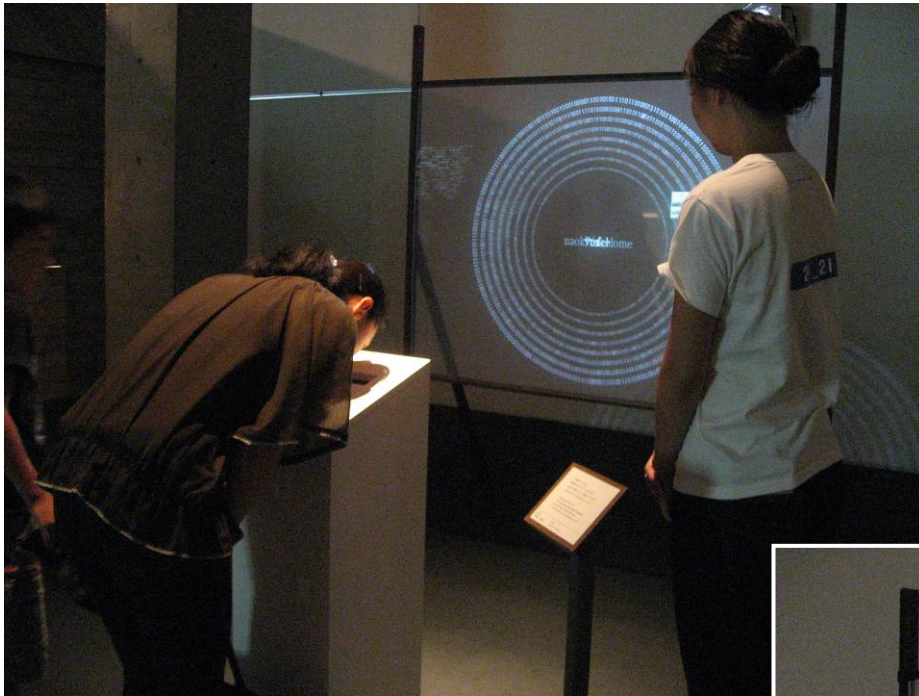
展示場に入り、三番目の出し物が「属性のゲート」です。関門が3つあり、それぞれの関門の上にあるカメラの前に立つと、O社製の人間判別カメラが判断した属性によって左右いずれかのゲートが開きます。
 第一段は「男か、女か」です。第二段は「29歳以下か30歳以上か」です。
 第三段は「笑った顔か、無表情の顔か」です。
 人間判別カメラが時々間違えることもあるようです。機械に間違われて違和感を感じてしまうことも、ディレクターの狙いです。
 英国IDL社のゲートは、この人間判別カメラの判断に従って、音もなくスーッとガラスパネルを開いたり閉じたりする役目を担っています。



ディレクターの佐藤雅彦先生は、「回路が見えたほうが面白いから」と言って、Fastlane Passgateのカバーを全部外してしまいました。



本当のFastlane Passgateの姿はこの通り。

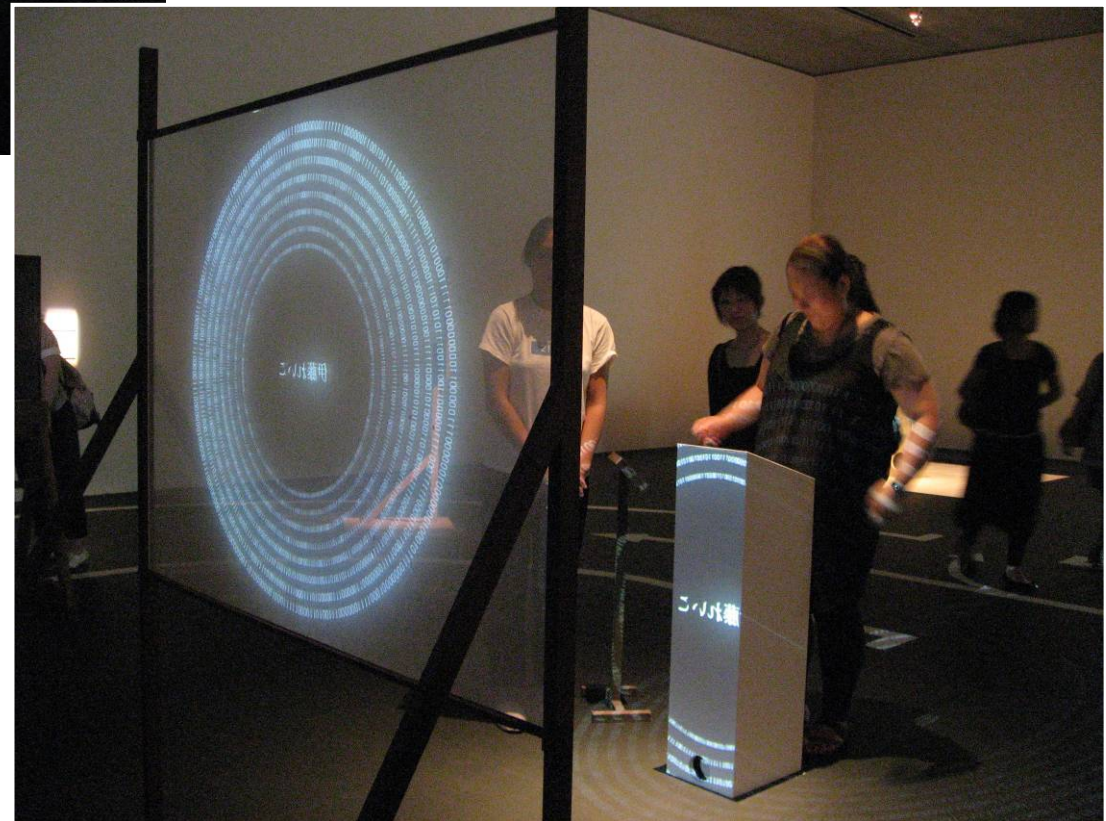


セキュリティゲート・ジャパンが協力した2つ目の出し物は、米Iris ID社の虹彩認証技術を利用して緒方壽人先生が作った展示です。

館の入口で登録した自分の虹彩をここで検索し認証します。登録人数は1,200人です。1,200人の中から総当たり検索します。

認証カメラは白い箱の中にあります。女性は前髪が目にかかるのでちょっとやりにくそうです。

認証結果が前方のガラススクリーンに投影されます。認証結果を出すのに、数秒待たせています。本来は米Iris ID社の虹彩認証商品は、カメラのシャッター音が聞こえたら瞬時に認証結果が出るのですが、ここでは面白さを狙ってわざと表示を遅らせているのです。

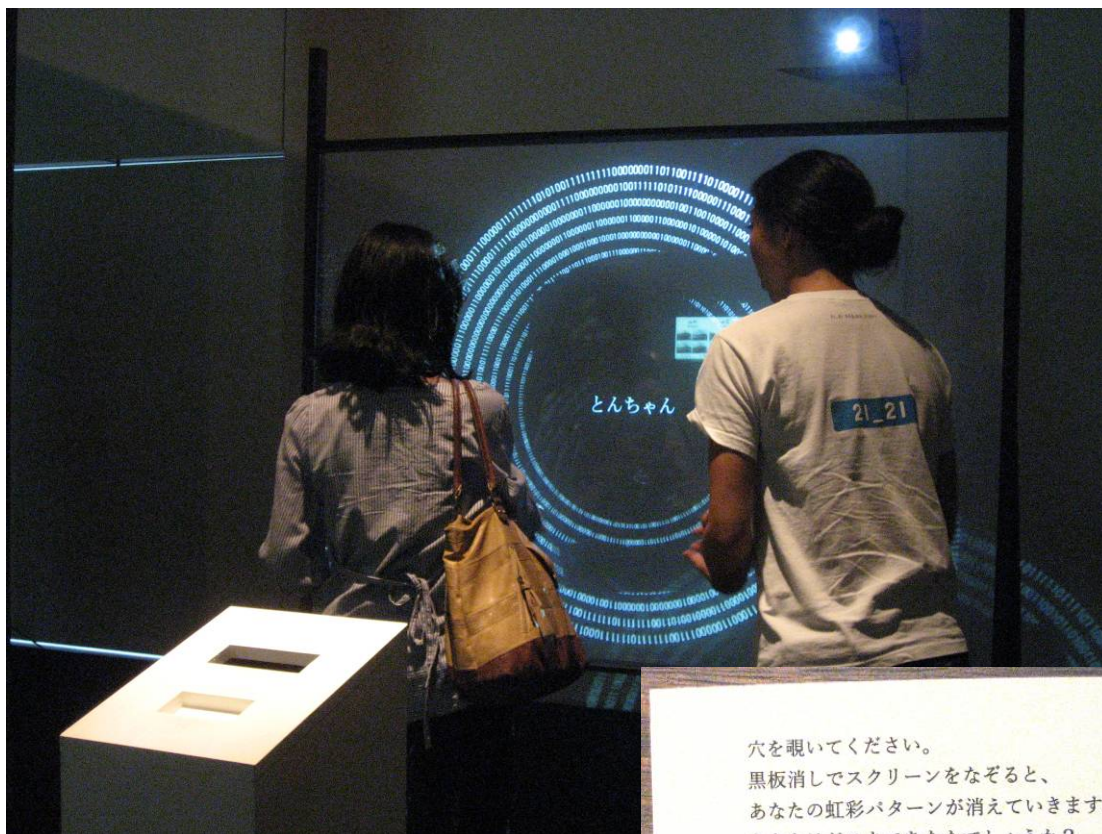


ガラススクリーンには、認証エンジンで調べた2048ビットのアイリスデータが8個のリングに1または0の数字のつながりとして表示されます。

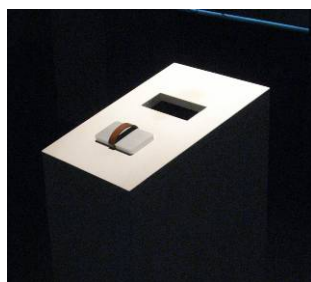
私もこんな絵は初めて見ました。

この作品を作った緒方壽人先生には、Iris ID社から虹彩のSDK(ソフトウェア開発キット)を提供しています。

認証された人は一様に「おーっ」と驚いていました。



今度は、自分が登録した名前が認識された人が自分の虹彩画像を、「電子黒板消し」で消していきます。
 (画面右上に写っているのは、他の展示がガラスに反射したものです。)
 上と下を相当消していますが、まだ同じ名前と認識してくれています。
 この後どれくらい消したら、認識できるのでしょうか。



認証窓の下に置いてある電子黒板消し

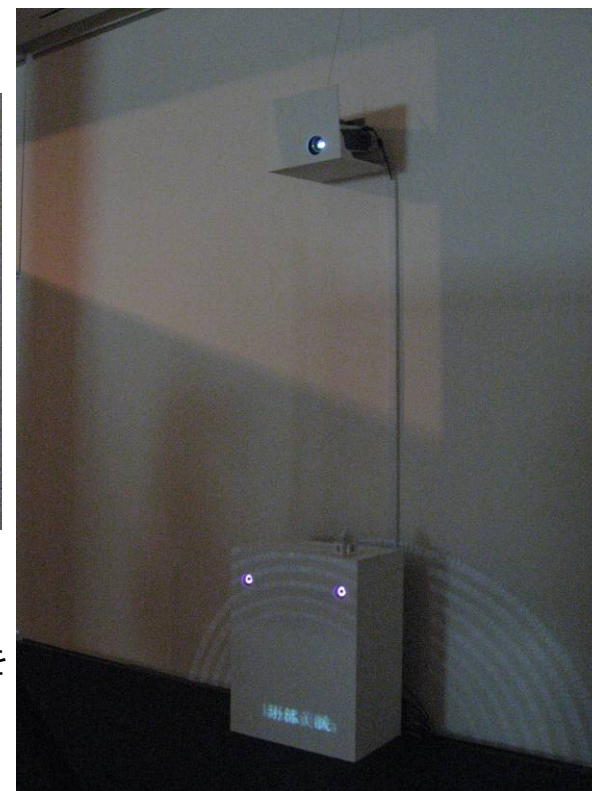
穴を覗いてください。
 黒板消しでスクリーンをなぞると、
 あなたの虹彩パターンが消えていきます。
 あなたはどこまであなたでしょうか？

Please look into the slot.
 Your iris pattern will gradually disappear
 by tracing with a blackboard eraser.
 To what extent are you identified as "you" ?

2048
 緒方善人 + 佐藤雅彦

2048
 Hisato Ogata + Masahiko Sato

ガラススクリーンの向こう側に仕掛けがあります。
 上方で光っているのがアイリスコードを投影するプロジェクター、下の箱には電子黒板消しを認識する赤外線カメラが入っています。



2048

緒方 寿人 + 佐藤 雅彦

虹彩認証は、人類が開発した生体認証システムの中でも極めて精度が高いと言われています。そもそも虹彩とは、角膜と水晶体の間にある薄い膜のことです。その虹彩の濃淡をある基準で2048個の0と1のパターンに置き換えて、そのデータを使って識別をしています。

その異常な精度の高さには理由があります。実は、このデータ化された一人ひとりの虹彩のIDは、データベースが持っている位相空間の中で、それぞれがかなり離れた座標に位置することが可能です。それ故、日によって目の状態が登録時と多少違ったとしても、あなたのIDとして認識される範囲から外れることはなく、あなたを特定できます。

この作品は、あなたの右目の虹彩パターンを視覚化した作品です。あなたがデータを少しくらい消しても、システムは「まだあなたです」とあなたに迫ってきます。かなり消去した時点で、ようやくあなたであることから解放してくれるのです。

2010年

体験型作品

音声：ピーター・バラカン

技術協力：Iris ID Systems Inc.

機材協力：株式会社セキュリティゲート・ジャパン

展示の傍に説明書きがあります。ピーター・バラカンさんの声で使い方の説明しています。ここでは、虹彩認証の制度をととても高く評価していただいています。



都会の真ん中とは思えない風景です。

見学おつかれさま。 終わり